

令和6年度「地区別懇談会」について（匹見地域）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和6年 5月1日（水）	匹見タウンホール	14:00～15:10	22	3	25

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、福祉環境部長、建設部長、上下水道部長、匹見地域総務課課長、地域交通対策室長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

今回開催する地区別懇談会については、これまでの自治会長会議に変えて本年度試行的に開催するものである。コロナになる前は毎年、年度初めに益田、美都、匹見のそれぞれ3地区において、自治会長の皆さんに集まっていたが、施政方針であるとか、市からのお知らせをするとともに意見交換の時間を設けていたが、自治会長の負担が大きいということや、全員の方々から声を伺うことができないといったことから、連合自治会長会議にお諮りした上で中止の判断をしたところである。しかし、特に匹見地域においては、地元の皆様方と市を結ぶ自治会長の役割についてお話を伺った。今年度は益田市を5つの地区に分けて開催することとし、その時のいろいろな状況を見て、次回以降どうするかは検討していきたいと考えている。

1. 令和6年度 施政方針の概要

〔現状（課題）〕

・地震を始めとする自然災害の脅威と防災対策の重要性

元日に発生した能登半島地震は、くしくも、自然災害の脅威は、いつ何どき起こるかもしれないということを突きつけることになった。この匹見町においても、弥栄断層帯が入っており、いつ何どき、震度6、7といった大地震が起こるかもしれないところである。新型コロナウイルス感染症の脅威は遠のいてきたが、こうした危機管理というものが、市政の中でもかなり重要な優先事項であるということが分かったところである。

・地球全体の気温上昇は容赦なく進行しており、脱炭素社会への移行はまさに焦眉の急

地球温暖化が進んでおり、昨年7月は観測史上で最も暑い夏であると、地球上の平均気温が最も高くなったと報道されている。この地球温暖化が進んでいるのは、二酸化炭素等の地球を温める効果のある気体の発生によるものとされており、その二酸化炭素をなるべく発生させない暮らし方を追求していかなければならない。市ではこれまで、照明器具を小電力のLED照明に替えたり、市の施設の屋根に太陽光発電の装置を設置、また共用車を電気自動車へ転換、市の調達電力も、再生可能エネルギー由来の電力に全て置き換える等、脱炭素社会を進めてきたが、これからさらに、そういった取組を強化していきたいと考えており、通年クールビズ、ウォームビズにする等電力の消費を抑えていきたい。

・人口減少と高齢化が加速し、中山間地域における活力維持が日を追うごとに困難となりつつある

人口減少、高齢化の進行はますます加速し、まさにこの匹見地区もその流れが先行してきており、全国的にも過疎発祥の地とされている。今後ますます中山間地域における生活機能の維持が困難になってくるので、今までと同じやり方では、行政サービスも続かない。市民サービスを

さらに高めたり、行政事務の効率化を図っていくためにも、新しいやり方、そして、地域を担う人材の確保育成が大変重要と考えている。

・萩・石見空港も大きな岐路

萩・石見空港は、令和7年3月まで東京線1日2往復運航が措置されているが、その後続くかどうかというのは、搭乗実績が大きくかかわってくる。昨年度、5月からコロナが5類になり少しづつ需要が回復してきたが、それでも目標には大きな開きがある。何とかこの差を埋めて、2往復運航が継続されるよう努力していくことが必要である。

大阪線についてもかなり厳しい状況で、昨年は8月11日から15日、5日間の運行であった。萩・石見空港の利用率が、他の路線に比べ低いことから、ANAから大阪線の見直しについて申入れがあったが、丸山島根県知事と本社に行ってお話し、何とか今年も5日間の運行を継続してもらったところである。こういった状況から、まさに今年度は、東京線、大阪線について、利用実績をしっかりと上げ、今後便の継続を実現するために一層努力していくことが必要となっている。

〔重点方針〕

・災害対策の強化

特に、今年度は能登半島地震から半年経過した7月上旬に、この地震の現状であるとか、今の避難所の状況、災害復興の状況等を研究して、庁内で共有する勉強会を開催することになっている。また、避難所の在り方についても、長期化するといろいろな問題が発生してくるので、どういった体制が必要か、また、備蓄はどういった物品が必要か等研修し、充実に努めていきたいと考えている。

・地球温暖化への対応

これまでに引き続き、脱酸素社会の取組み、特に先ほど申したように、クールビズ、ウォームビズ、これを通年化して、冷暖房の使用をより最低化していく。それから、自動車についても、なるべく早く、エネルギー効率の高い電気自動車等の新しい自動車に切替えていきたいと考えている。

・中山間地域振興と交通維持

中山間地域の振興のため、あるいは生活維持のために、自助、共助、公助のバランスのとれた地域支援の在り方をもう一度見直すとともに、官民連携や近隣自治体との連携をさらに進めて、空港の便あるいは、地域のバス路線など公共交通の維持に努めていきたいと考えている。

・自治体DXの推進

DXというのは、これまでの人間が手作業で行っていた作業を、コンピューターやAI等デジタルの力に置き換えていくというものである。市では昨年度から、亡くなられた時のご遺族の方の必要な手続を1か所で行うことができるお悔やみ手続サポートサービスというのをやっている。また、窓口でも、申請書に書いて手続をしていただく必要があったものを、職員が聞き取り書類を発行するというような書かない窓口を3月から開始している。こうしたサービスの拡充を今後進めていきたいと考えている。さらに、こうした新しい行政手続というのは、仕組みとか、機械を入れ替えるだけではなく、やはりそれを行う職員の意識改革も、同様に必要であると考えている。

・益田市型中高一貫教育の推進

これまでも市では、地域の子供達が幼稚園、保育所という小学校就学前の段階から、小学校、中学校、高校とふるさと教育、ライフキャリア教育を一貫して進めてきた。特にここ匹見地区では、小中一貫教育を市で唯一進めている。今後は、中学校と高校の6年間を一貫した形で進めていく益田市型中高一貫教育を進めていく。特に、市立中学校と県立もしくは私立の高校との6年間の連携をさらに充実させ、子供たちが、学びに向かう環境、あるいは学んだ結果、自分の進みたい方向に進める、多様な選択肢を選ぶことができる、そういう教育環境づくりを進めていきたいと考えている。

以上のような重点方針に基づき、持続可能な地球環境と持続可能な地域社会に貢献できる新し

い地方自治を令和6年度の施政方針としている。

2. 市内路線バスの現状

令和6年4月から路線バスの減便が実施され、幾つかの路線において、例えば、最終便が早まったり、便の数が減ったりということがあった。このような、ダイヤ改正がなされた理由としては、人手不足の中で運行会社の石見交通もバスの運転士が不足し、現状の便が維持できないということである。こうした路線バスの減便は、特に中山間地域の住民の皆さんへの影響は大変大きいので、石見交通と一緒に、運転士の確保、そのための様々な施策について、近隣の市町や県とも連携しながら、何とか打開策を講じていきたいと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 国道の整備について
- ② ゴミ処理の啓発について
- ③ 地球温暖化対策について
- ④ 旧校舎の活用について
- ⑤ 消防団について
- ⑥ 医療相談について
- ⑦ インフラ整備について
- ⑧ 風力発電について
- ⑨ 道の駅について
- ⑩ 県立サッカー場の駐車場について
- ⑪ 自治会について

○ 閉会（秘書課長）

令和6年度「地区別懇談会」

〔会場 匹見タウンホール 開催日時：令和6年5月1日（水）14:00～15:10〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 国道の整備について グリーンライン90の整備について公約され随分期間が経っているが、完成までにはまだまだ期間がかかるようである。早期に完了するよう県等への働きかけをお願いしたい。</p>	<p>① 現在、澄川工区等で事業を進めている。全体の事業完了の目途は見えていないが、市では毎年県への重点事項として要望している。早く全線開通するよう今後とも努力していきたい。</p>
<p>② ゴミ処理の啓発について ゴミ処理について、広報だけでは処理方法の徹底は難しいと思う。公民館単位で住民説明会を実施してほしい。</p>	<p>② どういった周知の方法があるのか検討し、適切なゴミの出し方、分別の仕方等実現できるよう考えていきたい。</p>
<p>③ 地球温暖化対策について エネルギー消費が少なくなることへの投資に補助金があると聞いたが、どのようなものなのか。電力消費が少ない自動販売機に変える場合も対象となるのか。 秋頃に県内のたばこ自動販売機が免許証とマイナンバーカードで購入できるよう更新され、その際に他市町はカードの普及対策として補助があるとのこと。</p>	<p>③ 市の事業ではないと思うが、持ち帰り確認して後日回答させていただきたい。また、制度がない場合、市として可能かどうか検討したい。</p>
<p>④ 旧校舎の活用について 学校の統廃合等により使われていない校舎があるが、旧道川小学校の校舎はどのように活用していくのか。 地域から要望すれば聞いてもらえるのか。</p>	<p>④ 旧道川小学校の体育館については、耐震工事が終了しているので、避難所、地域の活動の場として活用している。使われていない校舎や敷地の活用については、今後地域の方との話し合いにより何らかの方策を見つけていきたい。</p>
<p>⑤ 消防団について 現在の消防団の充足率ほどのくらいか。十分な活動ができる状況なのか。他市の取り組みも参考にしてほしい。 また、いざという時に消防団はメールでの招集となっているが、サイレンも活用してほしい。</p>	<p>⑤ 定員は下回っている状況である。消防団は、防災の要の一つであり、体制を整える事は重要なので、今後も消防団の魅力を作り、事例等も参考とし団員の確保に努めていきたい。伝達手段は、多重化することが望ましいと思っており、いろいろな手段を考えていきたい。</p>
<p>⑥ 医療相談について 健康ダイヤル21で子供の相談をしたが、対応がよくなかった。悩んで相談しているので、もう少し寄り添った対応に努めていただくよう指導してほしい。 町内に小児科もなく受診も大変なので対応してほしい。</p>	<p>⑥ 体調不良等で不安な時に、病院に行かなくても対応できるサービスとして提供しており、専門の会社へ委託し対応しているが、頂いたご意見をお伝えし寄り添った対応をしていただくよう申し入れるとともに、サービスの改善に努めていきたい。 小児科医の不足は、医師確保の最優先事項の一つであり、課題解決に努力していきたい。</p>
<p>⑦ インフラ整備について 連合自治会で社会インフラの要望を毎年行っているが、要望事項も徐々に解決している。今後も引き続き要望活動を行い、また土木課の情報ナビも活用し地域を守っていききたいと考えている。</p>	<p>⑦ 地域の要望を取りまとめていただいております。市としても出来るだけ対応していきたい。また、維持管理システムのますナビも活用し情報提供いただきたい。</p>

⑧ 風力発電について
風力発電事業について、最終的には県が判断するのかが、現在の状況を教えてほしい。

⑨ 道の駅について
かもしま付近で道の駅の構想があったと思うが、現状について教えてほしい。

⑩ 県立サッカー場の駐車場について
駐車場の車幅が狭く、普通自動車だとドアが開けられないため1台分空けて停めている状態になっている。2030年の国民スポーツ大会の会場にもなっているので、改善をお願いしたい。

⑪ 自治会について
匹見地域内に46自治会あるが、自治会活動が困難な状態となっている。自治会の再編等、通常の活動ができるよう検討してほしい。

⑧ 市としては、地元住民のご理解を得る努力を十分して進めて頂きたいという声を、県を通して国にお伝えしているところである。最終的には、市の意見、県の意見を踏まえ国で決定されることになる。

⑨ 益田川左岸の区画整理事業を進めていくが、周辺の益田道路の整備と合わせ、高台に防災公園の整備を行い、周辺住民の災害時の1次避難場所にする計画である。通常時にはにぎわいの場として、災害時には防災の拠点として活用していく。道路の整備状況や公園の利活用の状況を鑑み、将来的な道の駅への発展の可能性も視野に入れ整備を進める。

⑩ 現地を確認し対応したい。

⑪ 現在、中山間地域振興の基本計画を作成している。自治会は行政が作ったものではなく、どこまで踏み込めるかはわからないが、計画の中で、こういったあり方が望ましいのか、住民との対話を通じ見出していきたい。